緑のサヘル機関紙　Vol.65　2016 年 2 月 22 日

ラ　フォレ　セ　ラ　ヴィ　ー森こそ命ー

La Forêt, C'est la Vie !

住民目線に立った活動を進めるためには、住民との話し合いが大切です。

ご 挨 拶

日本では、１月の初旬以降、厳しい寒さが続き、各地で寒波と積雪による被害が出るようになりました。皆様におかれましては、生活上のご不便など生じておりませんでしょうか。

過日、日本でも報道されたとおり、ブルキナファソでは昨年９月 17 日に大統領警護隊によるクーデター、１月 15 日にイスラム武装集団によるテロ事件と、耳目を驚かす出来事が起きました。いずれの事件も政府により収拾されましたが、残念ながら根本的な解決には至っていません。しばらく、緊張感を伴う状況が続きそうです

一方で、いずれの事件も首都ワガドゥグで発生・終息したため、当団体がプロジェクトを行なっているコングシ地域では、特に異変はありませんでした。昨年は降雨開始が １ ヶ月近く遅れましたが、ディゲット（石堤）設置やザイ（穴掘）農法の活動を行なっている村では穀物の収穫量が増加し、村々や各組合の資金は少しではありますが、その額を増やしました。

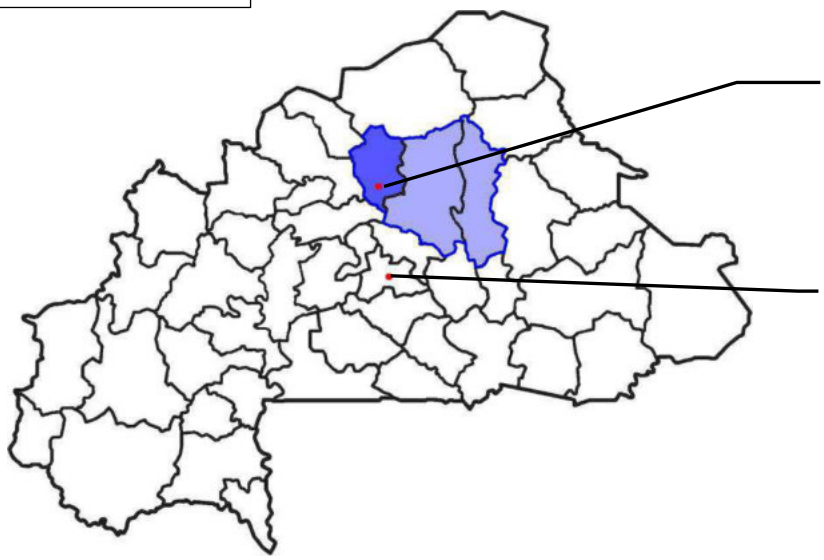
このような結果は、もちろん住民たち自身の熱心な取り組みによるものですが、皆様のご支援によって現地でプロジェクトが行なえるからこそ、実現することが出来たことです。どうぞこれからも、ご支援とご声援を宜しくお願い致します。

暖かさが感じられるようになるのはまだ先になりそうですが、皆様がお変わりなくお過ごしになられることを、心から願っております。

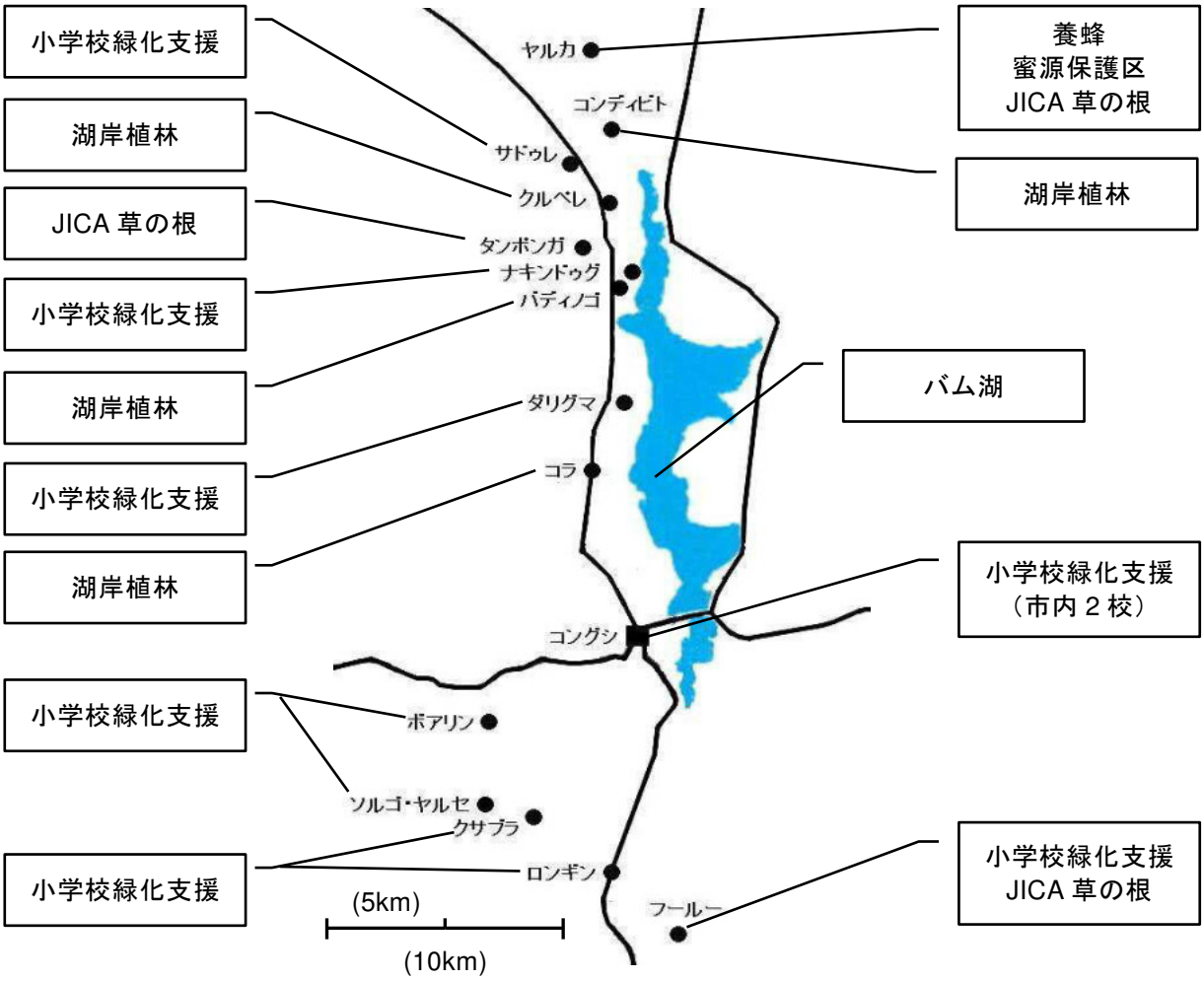
緑のサヘル　代表理事　岡本　敏樹

ブルキナファソの活動地域図

＜バム県位置図＞



＜バム県コングシ地域活動実施村位置図＞



ブルキナファソから　1

昨年 11 月末の選挙により、新大統領が選出されました。表立った騒乱や混乱は無く、新体制がスタートしました。しかし 1 月 15 日、近隣国より侵入してきた武装集団により首都ワガドゥグのホテルやレストランが襲撃され、死者 22 名が出るという痛ましい事件が発生しました。実行犯は逃亡中であり、今後も警戒が必要な状況です。

JICA 草の根技術協力事業

タンポンガ村とヤルカ村の搾油グループの女性たちから、「搾油によって得られるカリテ油（シアバター）を使って石鹸を作製したい」との要請があり、昨年 12 月中旬、加工技術の習得を目的とした講習会を行ないました。

加工技術を熟知しているコングシ市内の技術者に講師を依頼し、各村で 1 週間の日程で実施しました。また、固形石鹸だけでなく、液体石鹸の作製も行ないました。作製された固形石鹸には、村と「緑のサヘル」の名前が入ったスタンプが押されました。

タンポンガ村で行なわれた講習会を視察した際、女性たちから固形と液体の石鹸をお土産に頂きました。使ってみたところ、固形石鹸は適度な硬さで泡立ちのいい良品でした。

講師による指導の下、切断機を使って固形石鹸の切り出しをしているタンポンガ村の女性。

また、栽培地の表土流亡を防止するためのディゲット（石堤）設置に向けて、石の運搬作業が行なわれました。村の住民が総出で取り組み、12 月には、タンポンガ村では 69 回、ヤルカ村では 66 回、フールー村では 68 回の運搬が行なわれました。並行して石を並べる作業も行なわれ、各村で 2 名の栽培地に、合計 18 本のディゲット（約 9.44ha）が設置されました。石の運搬とディゲットの設置作業は、3 月頃まで続きます。

ザイ・堆肥グループでは、各村で新たに 15 名が参加しました。堆肥の作製穴が新たに 15 ずつ掘られ、壁面がセメントで固められました。

素掘りの作製穴の壁面に、セメントを塗り付けている職人。壁面崩壊の防止になります。

継続と新規メンバーを合わせた各村 30 の堆肥穴では、既に材料の積み込みが完了しており、現在は乾燥を防ぐための補水作業が続けられています。1 週間おきに 60 リットルの水を散水しなくてはならないため、時間と労力を要する作業です。

メンバーからも、堆肥作製に要する労力負担が大変であるとの発言も聞くのですが、堆肥を使用すると確実に穀物の成育や収穫量が目に見えて良くなるため、皆さんの意欲の維持につながっています。

ブルキナファソから　２

湖岸植林プロジェクト

4 村で行なっている湖岸植林プロジェクトでは、12 月に各村でユーカリ 2,000 本の植栽が行なわれました。植栽を行なっているバム湖の湖岸では、野菜栽培も活発に行なわれています。特にインゲンマメは、コングシ地域の特産物として広く知られています。インゲンマメの栽培は 10 月から翌 2 月頃まで行なわれるため、苗木の植栽時期と重なってしまいます。

一方で、最近ではユーカリ用材の需要が高まっており、従来よりも高値で売買されています。このことが、各村の植栽実施者にとって刺激になっています。

しかし、昨年の雨季のように降雨開始が遅れると、水やりに一層の労力がかかったり、あるいはバム湖の氾濫が大規模で水没したりすることもあります。一喜一憂しながらの作業ですが、植栽実施者は意欲を持ち続けて取り組んでいます。

実施者の多くは、苗木を受け取ったその日に、植栽を行ないます。　（コンディビト村）

チャドから

食料事情が悪化し始めています

降雨状況が思わしくなかったにもかかわらず、2015 年の穀物収穫が平年並みであったことから、11 月頃には食料事情が改善していました。しかし、収穫後 3 ヶ月が経過し、備蓄穀物が底を尽きかけています。

特に、サヘル気候区に属する中央部の東から西にかけての地域では、収穫量自体も十分ではなかったため、備蓄量の低下が顕著に進んでいます。1 月以降は、消費量を抑える家庭が増えています。またその他の地域においても、備蓄量は十分とはいえず、食料不足の懸念が高まっています。

食料が不足する時期に備えることを目的に実施した、穀物備蓄支援。（モゴ村、2000 年）

食料の需給状況を分析している機関によれば、「目下の状況では、3～4 月頃には食料の緊急支援が必要になる」との見解を示しています。間もなく迎える端境期（3～6 月）は、食料事情が厳しくなる時期です。深刻な事態にならないことを願うばかりです。

国内活動

昨年末は、11 月から 12 月にかけてシンポジウムや講演が相次ぎ、約 1,250 名もの皆さんに「緑のサヘル」の活動を知っていただくことが出来ました。多忙ではありましたが、非常に充実した 2 か月間となりました。

＜　東京事務局での主な活動一覧　＞

2015 年					
11 月	4 日(水)	シンポジウム「都市環境と食の安全」（一般・学生約 30 名　主催：埼玉大学教養部）		講演	(岡本)
	8 日(日)	緑のサヘル岩手報告会	（一般・教師 9 名）	講演	(菅川)
	9 日(月)	滝沢市立　滝沢東小学校	（5 年生 58 名）	講講	(菅川)
	10 日(火)	誠文館学童クラブ	（小学 1～6 年 30 名・保護者 2 名）	演演	(菅川)
	11 日(水)	一戸町立　小鳥谷中学校	（1～3 年 42 名）	講演	(菅川)
	12 日(木)	盛岡市立　下小路中学校	（3 年生 208 名）	講演	(菅川)
	13 日(木)	葛巻町立　江刈中学校	（1～3 年 29 名・保護者 7 名）	講演	(菅川)
	16 日(月)	盛岡市立　見前南中学校	（3 年生 132 名）	講演	(菅川)
	17 日(火)	盛岡市立　桜城小学校	（5 年生 62 名・6 年生 67 名）	講演	(菅川)
	18 日(水)	一関市立　花泉中学校	（1 年生 111 名・保護者 5 名）（3 年生 124 名）	講演	(菅川)
	20 日(木)	葛巻町立　小屋瀬中学校	（1～3 年生 19 名・保護者 2 名）	講演	(菅川)
12 月	4 日(金)	岩手県立　黒沢尻北高校	（JICA 出前講座）（1 年生 239 名・保護者 1 名）	講師	(菅川)
	16 日(水)	「世界食料デー月間」2015 年 振返りミーティング		出席	(菅川)
2016 年					
1 月	18 日(月)	「世界食料デー月間」月例ミーティング		出席	(菅川)

埼玉大学でのシンポジウム

昨年 11 月 4 日、埼玉大学教養部の主催によるシンポジウム「都市環境と食の安全」が、同大学総合研究機構棟において開催されました。

参加者に現地の取り組みを説明する岡本。

このシンポジウムは、世界中で急速な都市化と経済自由化が進む中、自分の生活環境と食の安全を守るために何ができるか、何をするべきなのかを考えるものです。

当日は、「モンゴル科学技術大学」のエンフタイヴァン・ゴンボスレンさん、「生活クラブ生協埼玉」の菊一敦子さん、「ストラスブール大学」の村松研二郎さんから、それぞれモンゴル、日本、フランスでの事例が紹介され、当団体代表の岡本敏樹もブルキナファソにおける地域環境と食の問題について事例紹介を行ないました。

事務局より

自然の恵み　八ヶ岳製品を！

大自然の中、丹精込めて作られたチーズやカレーはいかがですか？

長野県の八ヶ岳山麓に､｢八ヶ岳中央農業実践大学校」があります。ここでは、営農を志す青年たちが、豊かな緑の中で作物や野菜、乳製品や加工食品作りに、日々汗を流しています。

「緑のサヘル」代表の岡本と事務局長の菅川は、この学校の OB で、ここで２人は出会いました。その縁もあり､「緑のサヘル」を通じて製品をご注文頂くと、大学校のご厚意によって、売り上げの 20%が当団体に寄付されます。

宅配料金値上げのため、価格が変更になりました。
詳しくは最終ページのセット価格表をご覧下さい！

インターン終了のご挨拶　ありがとうございました！

「緑のサヘル」の皆様、６ヶ月間ありがとうございました｡インターンを通じて､｢緑のサヘル｣の活動やNGOで働くということ、活動国の特色など、貴重なお話をたくさんしていただきました｡自分の将来の進路の相談にも乗っていただき､何から何までお世話になってしまった気持ちです。

このインターンの経験を生かして､これからもアフリカの開発に関わっていければ、と思います。また、事務所にお邪魔するかと思います！　　（五十嵐　敬也）

ラジオ番組に出演します！

来る３月 13 日（日)､「緑のサヘル」代表の岡本敏樹が､「ちきゅうラジオ」という番組の「ちきゅう人バンザイ」のコーナーで、現地の様子や活動について生放送で話します。ぜひお聴き下さい！　番組情報は以下の通りです。

「ちきゅうラジオ」
NHK ラジオ第一（毎週土日 17:05～18:50、大相撲期間中は 18:05～）

ありがとうございました

＊敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

内藤篤／杉本和／豊島正幸・まり子／浅輪哲司／野々山富雄／今野進／梅田暢子
加藤和雄／柏原竜一／古川フミ子／矢野友一郎・正代／森内和子／那口真理子
田中ちえ子／松本仁一／木嶋清江／玉岡昇治／宮田春夫／油島小学校 佐藤怜子
田辺諄児／尾上素子／中村洋／鈴木幸子／野口鉄雄／榎本雅子／竹越久美子
上野幸子／半羽勝子／佐々木順平／援助修道会 管区本部／こじまこどもクリニック

他　匿名をご希望の方　１名

【 ご寄付を頂きました 】

内藤篤／石毛弘／竹中和子／齋藤美子／立花美江／齊藤せい子／中久保慎一
中早苗／及川豊／須藤きい／宮本秀子／加藤治郎／佐藤弘美／野々山富雄
梅田暢子／賀川麻衣／丹邦子／太田弘子／高橋裕明／澄田静／天野洋子
梶野修平／畑野めぐみ／徳永由希子／小池昌子／西村豊子／武藤彰子
田中ちえ子／土蔵愛子／大枝純・美智子／木嶋清江／宮田春夫／榎本みつ枝
小林伸張／髙木真味子／田辺諄児／勝間朋子／鈴木潤太田宜子／野澤眞次
小島訓子／米澤成子／青柳美知子／赤山孝子・美苗江／安生弘子／井上進次
奥康功／加納愛子／佐伯利恵／東海林茂子／高橋桂子／谷村泰子／富谷晋
中尾寿美／花垣正／水島多衛子／瀬戸義子／米江勝彦／サトウイクコ
浅井賢太郎／援助修道会 管区本部／日本聖公会 西宮聖ペテロ教会
（株）電通ワークス／ぎゃらりい＆窯 ばおばぶ 堀越信代
ブライトソフトウェア 矢部真之介／個別教育フォレスト 安多秀司
かみひとねっとわーく京都〈事務局〉蛯名健仁・加奈子

他　匿名をご希望の方　４名

【BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

小島訓子／氏岡治代

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

齋藤せい子／太田弘子／北村資寿子／米江勝彦
一関市立花泉中学校／葛巻町立小屋瀬中学校生徒会
他　匿名をご希望の方　１名

上記は 2015 年１１月１日から 2016 年１月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、２月１日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
isave(シープ㈱)／省エネ住宅ポイント／アフリカ料理 トライブス
(財)農村更生協会 八ヶ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
国際連合食糧農業機関(FAO)／(公社)国際農林業協働協会／(株)グリムス
株式会社プレジャーワークス／gooddo(株)セプテーニ・ベンチャーズ
ソーシャルアクションリング／マチウケル！(株)廻船問屋
かざして募金 ソフトバンク／ジャパンギビング／世界食料デー月間

「緑 の サ ヘ ル 」か ら お 知 ら せ

書き損じハガキ・切手などは「緑のサヘル」へ！

皆さんの家に、書き損じハガキや年賀状、未使用切手、余っている商品券や図書券はありませんか？もしありましたら、是非「緑のサヘル」までお送りください！

お送りいただきました書き損じハガキや年賀状、暑中見舞いのハガキは新しいハガキや切手と交換し、商品券や図書券はお金に換えて、活動のために役立てさせていただきます。

gooddo

“社会を良くする”仕組みづくり

Gooddo（グッドゥ）は、応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に無料で支援することができます。

gooddo のサイト（http://gooddo.jp）にアクセスし、「団体を探す」から「緑のサヘル」を選び、クリックして下さい。応援ポイントが貯まり、ポイント数に応じた支援金が「緑のサヘル」に届けられます。よろしくお願いします!!

【 もくじ 】

1‥表紙
2‥ブルキナファソ活動地域図
3‥ブルキナファソから１
4‥ブルキナファソから２ チャドから
5‥国内活動
6‥事務局より
7‥ありがとう
8‥お知らせ

＜ スタッフよりひと言 ＞

● 今回のブルキナファソ出張では、大統領選挙やテロ事件などのため、行動制限がある中での業務になりました。やや未消化の思いがしています。（岡本）

●「暖冬」のはずなのに、なぜか例年以上に寒さが堪えています。少しだけ現地の暑さが恋しいこの頃です。（菅川）

● 神田駅周辺から本屋が無くなって１年。本の街神田なのに！ このストレスじわじわきます。（本所）

● 半年ぶりのコングシは乾季の真っ只中。穀物収穫を終えた村人たちは、ディゲット作りに家族総出で頑張っています !!（大谷）

ご贈答品・ご挨拶にどうぞ

ハヶ岳農場の特産品

「ハヶ岳中央農業実践大学校」の手作りチーズやアイスクリーム、チーズケーキ、カレーなど、ハヶ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの９セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の 20％ が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

００１２０－７－４１９４８８「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで１０日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,258	4,366	4,474	4,582	4,690	5,230
B	アイス20個	6,858	6,966	7,074	7,182	7,290	7,830
C	チーズ	4,042	4,150	4,258	4,366	4,474	5,014
D	アイス／ケーキ2種	4,258	4,366	4,474	4,582	4,690	5,230
E	ムース	5,388	5,496	5,604	5,712	5,820	6,360
F	ケーキ	5,388	5,496	5,604	5,712	5,820	6,360
G	カレー／チーズ	5,242	5,350	5,458	5,566	5,674	6,214
H	ケーキ2種	3,688	3,796	3,904	4,012	4,120	4,660
I	カレー	3,822	3,930	4,038	4,146	4,254	4,794

宅配料金値上げのため、2015 年 9 月より価格が変わりました。ご注意下さい。

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie ! Vol.65

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 大谷恵美 ／印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 （特活）緑のサヘル ホームページ: http://sahelgreen.org/ E-mail : agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101－0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 ＮＡＳビル３Ｆ TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041